
節分を過ぎた頃にやってくる寒波、雪混じりの日が続きます。お元気ですか。男女共同参画WGです。今回は、「女性研究者支援モデル育成事業申請にあたって」の話題をお送りします。

「女性研究者支援モデル育成事業」（科学技術振興調整費）申請にあたって

前号で主要事業の概要を掲載しましたが、もう少し具体的な内容をお知らせします。

1) 「なぜ応募するのか」 外部資金獲得の基本的な考え方・理念

- 資金獲得により教育研究活動に専念できるような環境改善を促進し、教育水準・研究水準を向上させる。
- この事業は「女性研究者支援」が目的であり、女性教員を直接に支援できる。
- この資金を活用して、事業を推進する中心的な人材の雇用が可能となる。
先行採択機関では直接経費の50%以上を人件費が占めている。
教授（課長）クラス1名、技術・事務補佐2～3名の雇用を計画している。
これにより、業務負担が現在よりかなり軽減される。

2) 女性研究者支援モデル育成事業の位置づけ

- 男女共同参画推進の柱の一つで、研究者だけでなく、職員・学生も含めた男女共同参画社会の実現への波及効果を狙う。
- ワーク&ライフバランス（WLバランス）の改善への流れをつくる
WLバランス改善への突破口と位置づけ、適切なシステムを構築する。
3年間の試行終了後、その効果を検証し、対象の拡大・普及を図る。

3) 実際に何をやるのか？（おもな内容）

- 柔軟な働き方システムの構築
在宅勤務、別居家族の支援、
実務的な環境整備（ユビキタス環境）など
- ライフステージに対応した支援体制の構築
育児期・介護期の支援、
年代別の支援システムの考案：自己啓発・自己研鑽、メンターメンタルケア体制
あて先は kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

女性研究者支援関連講演会のお知らせ！！

●医学部附属病院女性スタッフ支援室主催の講演会が下記のように開催されます。
是非ご参加ください！

日時：2月27日 17時30分～

場所：島根大学医学部看護学科棟N11 講義室

内容：「女性医師が医療を継続していくために～できること、できていること、

しなくてはならないこと～」

講師：内田啓子先生（東京女子医大・女性医学研究者支援室）

女性スタッフ支援室アンケート結果！！

●医学部附属病院女性スタッフ支援室が昨年12月に実施した、医学部職員・学生対象の意識調査アンケートなどの集計結果が、女性スタッフ支援室HPにアップされています（<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/woman/>）。

予想通りの集計項目、学生の本音が見える項目など、様々な興味深い調査結果を見ることができますが、改めて職員への啓発活動や学生への初期教育の必要性が感じられる集計結果となっています。是非一度ご覧下さい！

「島大子育てネット」の登録受付中！！

「島大子育てネット」を立ち上げ、メンバーによるメーリングリストをつくり、楽しく情報交換を行なっています。子どもの有無や性別・年齢に関係なく、子どもに関心のある教職員の方ならだれでも参加できます。

子育てしながら働きやすい職場づくりについて、一緒に考えてみませんか。メンバー登録をご希望の方は、法文学部の片岡までご連絡ください。

（メールアドレス kataoka@soc.shimane-u.ac.jp）

編集後記

いよいよ年度末になり、あわただしい毎日が続きます。男女共同参画推進WGでは、今年度の活動の総括をまとめつつあります。これからも様々な取り組みを行ないたいと考えています。皆様の一層のご支援を頂きますよう、お願いいたします。

このメールマガジンについてのご意見・ご質問等は

kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

まで お願いいたします。

★ お願い ★ このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方にしか届かない設定がされているところがあるようです。そのような場合は、代表の方が講座内のスタッフ全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸いです。